

令和3年度 一般社団法人 山陰インバウンド機構 収支予算

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

【収入の部】

単位：千円

項目	予算額	備考
1. 負担金収入	165,671	
県負担金	165,671	鳥取県 80,000 / 島根県 85,671
2. 国補助金	100,150	観光庁補助金
3. その他収入	2,610	デジタルバス販売による収入
4. 前年度 繰越金	77,255	
合計	345,686	

【支出の部】

単位：千円

項目 / 個別事業名	国補助事業の区分	事業総額	機構負担分	国補助金	事業の概要
1. 調査・戦略策定	定額補助 (10/10)	10,000	0	10,000	
(1) コロナ回復期を見据えた新たな旅行スタイルに対応した戦略・策定	戦略策定	10,000	0	10,000	東アジア（台湾、香港、中国、韓国）を中心とした外国人旅行者の実態調査・分析
2. 「ゲートウェイ戦略」（訪日客の来日拠点からの誘客）	定率補助 (1/2)	50,000	25,000	25,000	
(1) 中国エリアと連動したFIT市場の開発と誘客事業	体験型・滞在型コンテンツ等の企画・造成・改善	50,000	25,000	25,000	・「Discover Another Japan Pass」の展開 ・「Visit San'in Tourist Pass」の展開 ・それぞれのバスに掲載する滞在型コンテンツの造成と受入環境の整備
3. 「緑の道」滞在型観光の推進	定率補助 (1/2)	70,600	35,300	35,300	
(1) グローバルウェブサイトによる「ショーケース（重点エリア）」のマーケティング強化事業	情報環境の改善・向上	40,000	20,000	20,000	・R2年度に開発した機能【ショーケース（重点エリアの滞在型コンテンツや、モデルコース）】を連携させた誘客フローの確立 ・ショーケースの品質向上 （コンテンツのブラッシュアップと見直し）
(2) 旅館・ホテルと連携した新たな販売ネットワークの構築事業	体験型・滞在型コンテンツ等の企画・造成・改善	10,600	5,300	5,300	・宿泊施設の滞在型観光コンテンツの提供状況・造成意欲調査、滞在型観光コンテンツのポテンシャルの把握、モデルケースの設定及び滞在型コンテンツの造成及び磨き上げ
(3) コロナ回復期を見据えた新たな旅行スタイルに対応したコンテンツの開発・見直し（欧米豪）事業	体験型・滞在型コンテンツ等の企画・造成・改善	20,000	10,000	10,000	外国人目線による欧米豪向けの山陰コンテンツ等の検証 ・大阪、広島での対面調査 ・在住外国人ジャーナリスト、旅行会社を活用したコンテンツの再検証
4. 民間活力による域内消費の拡大	定率補助 (1/2)	39,700	19,850	19,850	
(1) プラットフォーム型スクールによるスタートアップ支援事業	人材育成	20,000	10,000	10,000	・人材育成のためのプラットフォーム型センターの設置 ・各領域の専門家を講師として招請 ・個人の起業、DMO中核人材の育成・輩出
(2) 観光商品開発マニュアルを活用した地域プラットフォーム事業	体験型・滞在型コンテンツ等の企画・造成・改善	19,700	9,850	9,850	・地域ごとの観光課題抽出～解決を支援 ・観光商品開発手引書とデジタルバスを活用した観光商品の開発
5. 持続可能な組織の構築（世界に誇る観光地を形成するためのDMO 体制整備事業）	定額補助 (10/10)	10,000	0	10,000	
(1) 投資戦略やビジネスモデル確立の外部専門人材の登用	外部専門人材の登用	10,000	0	10,000	中核人材登用
小計（1～5）		180,300	80,150	100,150	
6 自主事業		94,865	94,865	0	
(1) オンラインセミナー等の開催		2,000	2,000	0	オンラインセミナー等各種セミナーの開催
(2) 「DAJIP」「VSTP」を活用した広域周遊促進 ・観光MaaSによる広域アクセス強化 ・航空会社と連携した国内アクセス強化 ・観光案内所ネットワーク化による広域誘客		44,425	44,425	0	・バスを活用した交通機関等との連携 ・観光案内所でのデジタルツールの開発 等 ・外国人が集まる県外の主要観光案内所と山陰の観光案内所とのネットワーク化 ・安心安全対策の改善、混雑状況通知 等
(3) 「DAJIP」「VSTP」管理費（維持・改善・運営）		10,440	10,440	0	・「DAJIP」「VSTP」システムにかかる管理費 ※デジタルバス販売収入に対応した事業費
(4) 訪日旅行の段階的な再開に合わせた機動的なプロモーション ・米子空港への定期便や訪日航空便再開時の特別プロモーション		20,000	20,000	0	・デジタルバスを活用した周遊促進 ・再開に向けた海外向けプロモーション 等
(5) 首都圏在住ジャーナリスト等を活用した山陰の魅力開発事業		6,000	6,000	0	山陰DMOアドバイザーを活用したPR
(6) ホームページ等維持管理		7,000	7,000	0	機構HP等の維持管理費
(7) 情報発信（情報環境の改善・向上）・プロモーション事業		5,000	5,000	0	・JNTOと連携した情報発信 ・JATA会と連携した販売ネットワーク
7. 管理費		64,521	64,521	0	
(1) 管理運営費（人件費、管理費、活動費）		64,521	64,521	0	
8. 予備費		6,000	6,000	0	
(1) 予備費		6,000	6,000	0	
合計		345,686	245,536	100,150	

2021機構全体予算の概要

内 訳	事業費（千円）	事業費の内訳（千円）
(1)広域観光周遊促進事業	170,300	・国補助金:90,150 ・機構:80,150
(2)世界に誇る観光地を形成するためのDMO 体制整備事業	10,000	・国補助金: 10,000
(3)山陰インバウンド機構自主事業	94,865	
(4)管理費	64,521	
(5)予備費	6,000	
計	345,686	・国補助金100,150 ・機構:245,536

※注記 資金の範囲には、現金預金、未収金、立替金、未払金、預り金及び短期借入金を含めている。